

協会 使用 欄	全	No.
	不 備	No.

消防設備士講習受講申請書 (講習区分ごとに作成)

太枠内はすべて記入すること。※印のついた欄は記入しないでください。

埼玉県知事殿		平成 30 年 月 日 (記入した日)	
消防法第 17 条の 10 の規定により、次のとおり講習を受講したいので申請します。		(自署) 申請者 氏 名	
フリガナ	セイ	メイ	
名 前	姓	名	
生年月日	元号(○で囲む) 昭和 3 平成 4	年 月 日	生年月日:和暦で記入のこと。「昭和=3、平成=4」選んで○で囲む。年月日は二桁で記入する(例:2月=02)。
本籍地	免状に書いてある本籍地を記入	本籍地:現在の本籍地が免状と異なっても、書き換えが済んでいなければ、免状のとおり記入する。	
住 所	〒 -		
電 話	自宅	携帯	
勤務先名	電話		

写 真
縦 4 cm・横 3 cm
6ヶ月以内撮影
正面からの上三分
身像で、顔ははっ
きりわかり、無
帽、無背景のもの
コピーは不可。

今回受講する講習区分 (受講対象となる免状の種類によって区分が分かれるので、『消防設備士講習案内』の開催日を確認のこと。)

消火設備(第1・2・3類) 警報設備(第4・7類) 避難設備・消火器(第5・6類) 印を入れる又は塗りつぶす。

今回受講する区分の免状記載事項 (同じ類で甲・乙両方保有の場合は「甲」を記入)

受講する区分の免状種類	交付年月日 (元号は3か4を○で囲む)	交付番号 (5桁)	交付知事
種 第 類	昭和 = 3 平成 = 4	年 月 日	
種 第 類	昭和 = 3 平成 = 4	年 月 日	
種 第 類	昭和 = 3 平成 = 4	年 月 日	

※受講番号

受講希望日

注:「消防設備士講習受講票」の「講習日」にも同様に記入すること

講習案内の区分ごとの講習開催日を参照のこと。

11 月 日

※科目免除
可 不可
条件付

講習科目の一部免除申請 (該当者は記入)

【過去6ヶ月以内の受講】(埼玉県以外)

講習区分	修了年月日	実施知事
特殊設備	H30年 月 日	
消火設備	H30年 月 日	
警報設備	H30年 月 日	
避難・消火器	H30年 月 日	

【本年度埼玉県で受講する他の区分】*1

講習区分	実施日
消火設備	11月 日
警報設備	11月 日
避難・消火器	11月 日

*1 今回、埼玉県で期間内に複数の区分を受講する予定があれば記入する。

証紙の裏面貼付 あり

【手数料貼付欄】埼玉県収入証紙をここに貼る。

- 収入印紙は使用不可
 - 消印、割り印、重ね貼り、テープの使用厳禁
- ※枚数が多く貼り切れない場合は裏面に貼付する。

消防設備士講習受講票

◆太枠内に記入

講習日	平成 30 年 11 月 日
講習区分 (□に☑を入れる)	<input type="checkbox"/> 消火設備 (第 1・2・3 類) <input type="checkbox"/> 警報設備 (第 4・7 類) <input type="checkbox"/> 避難設備・消火器 (第 5・6 類)
受講者氏名	

※受講番号
※出欠結果
※科目免除 可 条件付可 不可

◆講習科目の一部免除申請者は、以下も記入してください。

講習科目の一部免除申請状況

【過去 6 ヶ月以内の受講】 (埼玉県以外)

講習区分	修了年月日	実施知事
特殊設備	H30 年 月 日	
消火設備	H30 年 月 日	
警報設備	H30 年 月 日	
避難・消火器	H30 年 月 日	

【本年度埼玉県で受講する他の区分】

講習区分	実施日
消火設備	11 月 日
警報設備	11 月 日
避難・消火器	11 月 日

《ご注意》※「条件付可」の方

免除の条件となる講習を受講できなかった場合などにより、講習の一部免除の対象とならない場合がありますのでご注意ください。

※受託機関からの通信欄

講習会場：埼玉県県民健康センター（さいたま市浦和区仲町 3-5-1）

- ◎ 講習日当日は、講習会場受付に「消防設備士講習受講票」・「消防設備士免状」を提出してください。
- ◎ 会場に講習に関してのお問い合わせのお電話はご遠慮ください。
- ◎ 遅刻は認められておりません。交通機関による遅れ等もお考えの上、時間に余裕をもってお出かけください。
- ◎ 『消防設備士講習案内』の「受講者心得」等をご参照ください。

埼玉県・一般社団法人埼玉県消防設備協会

【メモなどとしてご利用ください。】*受付時間など